

活用しよう!

まちづくりセンター

皆さんは地域にあるまちづくりセンターをご存じでしょうか。区内9地区にあるまちづくりセンターは、地域の皆さんと区役所を結ぶもつとも身近な窓口で、地域の特性を生かしたまちづくりをサポートしています。今月はまちづくりセンターをご紹介します。

新たにスタートしたまちづくりセンター

まちづくりセンターは昨年度までは、連絡所と呼ばれていました。

札幌市では、施政方針「さつぽろ元気ビジョン」に、「市民自治が息づくまちづくり」を掲げ、住民自らが地域の課題を考え、その解決や目標の実現を目指し行動するまちづくりを進めています。

そこで、今年4月、市内87カ所の連絡所・出張所の名称を「まちづくりセンター」に変更し、まちづくり活動の拠点とすることにしました。ここでは、地域の人々が話し合いをする場（「集う」）、いろいろな話題や情報を収集する場（「知る」）、地域のまちづくりについて相談し合える場（「考える」）として活用されることが期待されています。また、豊平区では、5月に策定した「豊平区元気ビジョン2004」で、まちづくりセンターに活動スペースを確保することや情報機器の整備、まちづくり協議会の設置支援などを重点事業としています。まちづくりセンターを利用して地域のまちづくりに参加してみませんか。

まちづくりセンターの機能と役割

これまでの連絡所では、各種証明書の取り次ぎのほか、町内会などの住民組織振興、地区の福祉活動の支援に関することなどを行ってきました。これからは、これらの業務に加えて地域の状況に併せて次のことを進めていきます。



住民組織のネットワーク化支援

住民、町内会、商店街、企業、大学、ボランティア、NPOなど幅広い団体を対象とした話し合いの場の提供やネットワークづくりを行い、まちづくり協議会の設立・運営を支援します。

地区のまちづくりに関する施策などの企画および推進に係る調整

地域で行う事業について、市役所内部や住民組織などとの連携、調整をより一層円滑に進めていきます。

地域情報の交流および市政情報の提供

まちづくりへの市民参加のために、地域のまちづくりに関する話題あるいは市政に関する情報提供を実施していきます。

まちづくりセンターはまちづくりの拠点

福住まちづくりセンター内に、情報交流の場「ふくふくサロン」が開設されています。このサロンは、地域の人々が自主的に行うまちづくり活動を支援する拠点で、ボランティアによる「ふくふくサロン運営委員会」が運営しています。地域の皆さんがまちづくり活動を行うために利用できるインターネット閲覧用のパソコン、プリンターや打ち合わせコーナーなどがあります。



▲「ふくふくサロン」での活発な活動の様子

福住地区では、町内会、学
校、PTA、商工会、その他